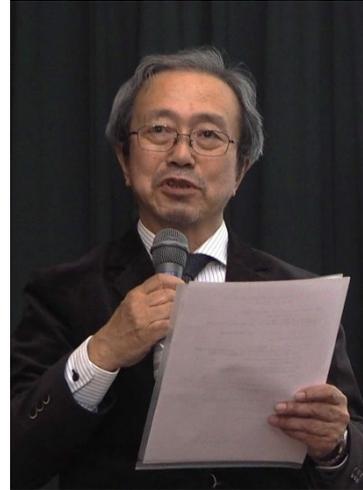


開会挨拶

石川裕彦（会長）

会場にご参集いただいた皆さん、zoomでご参加いただいている皆様、おはようございます。ただいまから、知球会の講演会を開催いたします。今年も昨年に引き続き、対面形式とzoom参加によるハイブリッド開催です。YouTubeによるLIVE配信も行っています。今年は、退職を迎える、防災研究所の井口先生、岩田先生、斎藤先生にご講演いただきます。井口先生は、国際会議でグアテマラにご出張中で、現地からzoomでご講演いただきます。同じく退職される片尾先生にもお願いしたのですが、体調を崩されているとのことで残念ながらご辞退されました。修士論文賞は3名の学生さんが受賞され、伊藤良介さんと吉川浩一朗さんにご講演いただきます。もう一名、米田匡宏さんは衛星に搭載する実験機器の準備で東京にご出張中とのことです。



世界の平均上昇が1.5°Cに迫る…とか、大西洋の海洋循環が弱くなってきた、あるいは先日の能登半島の地震など、地球物理学に関する話題がニュースにあらがります。我々の仲間がメディアで積極的に発信しているのを目にするのはうれしい限りではありますが、いずれも災害に関わる、ある種ネガティブな雰囲気をつらした話題として報じられるのには、少し気に掛かるものがあります。本日の講演が、地球物理学の素晴らしさが感じられるような内容であることを期待して、開会の挨拶といたします。